

## 第1回阿波なでしこ技術サロンの報告



(株)エフ設計コンサルタント  
花岡 史恵 (HANAOKA FUMIE)  
(建設部門)

### 1. はじめに

平成 25 年度に発足した徳島県技術士会女性部会（以下、「女性部会」と略記）の初めての活動として、「第1回阿波なでしこ技術サロン」が開催された。

女性部会は、平成 25 年度に徳島県技術士会の女性会員が 6 名となったことにより、女性を中心とした技術士会活動を行うために発足したが、準備期間 2 年を要して、今年度、初めて活動を開始することができた。

「第1回阿波なでしこ技術サロン」は、女性技術者を目指す女子学生および女子社員等を対象として、気軽に意見交換ができる場を提供することで、より良いネットワークづくりに寄与することを目的として開催された。

本報告では、意見交換の様子や参加者アンケートを通して、「第1回阿波なでしこ技術サロン」の検証を行った。

### 2. 女性部会の活動概要

「第1回阿波なでしこ技術サロン」を開催するにあたり、約 2 年間の準備期間を要しており、その準備期間も含めて時系列に女性部会の活動概要を以下に示す。

表 1 女性部会の活動概要

年 月	概 要	参加および確認等
平成 25 年 5 月	徳島県技術士会女性部会発足	6 名（全員承諾）
平成 25 年 8 月	第 1 回会合	3 名（報告書により全員確認）
平成 25 年 12 月	活動計画案作成	1 名（活動計画案は全員確認）
平成 26 年 1 月～	メーリングリストにより意見交換	6 名
平成 27 年 6 月	懇親会開催（技術サロン開催の確認）	5 名
平成 27 年 6 月～	メーリングリストにより意見交換	6 名
平成 27 年 8 月	第 1 回阿波なでしこ技術サロン開催要領作成	1 名（開催要領は全員確認）
平成 27 年 8 月～	上記案内	6 名（技術士会理事にも依頼）
平成 27 年 8 月～	メーリングリストにより意見交換	6 名
平成 27 年 10 月	第 1 回阿波なでしこ技術サロン資料等作成	1 名（資料は全員確認）
平成 27 年 11 月	第 1 回阿波なでしこ技術サロン開催(11/14)	5 名

### 3. 第1回阿波なでしこ技術サロンの概要

「阿波なでしこ技術サロン」は、女性部会メンバーにより、会合や懇親会、メーリングリスト等を活用し、女性部会の活動内容の検討を行った結果、女性技術者を目指す学生や女子社員を対象として、今の悩みや今後の方向性等について気軽に話し合いのできる場を提供し、女性技術者のネットワークづくりに寄与する活動として誕生した。最低、年1回の開催を目標として、平成27年度に第1回開催を決定した。また、この名称についても女性部会メンバーで意見交換を行い決定した。以下に、「第1回阿波なでしこ技術サロン」の概要を示す。

また、その活動の様子とグループワークまとめ、スタッフの役割分担を示す。

表2 第1回阿波なでしこ技術サロンの活動概要

開催日時	平成27年11月14日(土) 14:30~16:30
開催場所	ホテル千秋閣
主催	徳島県技術士会女性部会
参加対象	技術職を目指す女子学生および女子社員等
定員	20名
参加費	無料
案内形態	案内チラシをメール配信
申込形態	必要事項を記入してメールにて申込
開催形式	グループワーク (A、Bの2グループに分けて行った)
プログラム	アイスブレイク(初対面の緊張をほぐす) グループワーク(ポストイット、模造紙、マーカー使用) 話し合いの共有(グループの意見交換内容の発表) 本日の感想(一人ずつ発表) アンケート調査
参加者数	参加者12名(学生2名・社会人10名)(申込13名) スタッフ5名 計17名
アンケート	終了後に回答・回収 結果:11名(参加者1名は都合により途中退席)



写真1 グループワークの様子(A)



写真2 グループワークの様子(B)



写真 3 グループ発表の様子(A) 写真 4 グループ発表の様子(B) 写真 5 まとめ模造紙

表 3 スタッフの役割分担

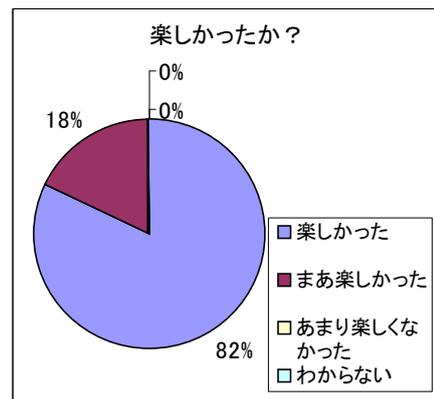
役割	担当	備考
全体進行・全体管理・写真	花岡史恵	
Aグループ進行・記録	仲間真紀・大寺礼子	模造紙まとめ及び発表は参加者
Bグループ進行・記録	小藤美樹・武間亮子	

#### 4. 評価

第1回阿波なでしこ技術サロン終了後のアンケート調査結果を元に評価を行った。以下に、アンケート調査結果を抜粋して報告する。

##### 1) 全体評価

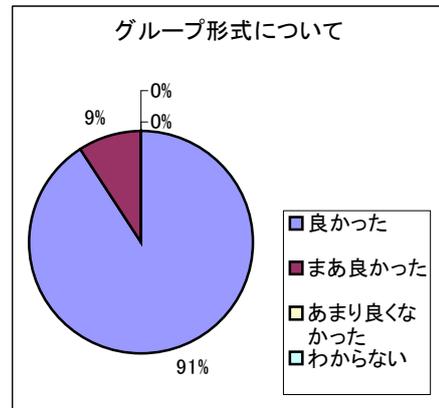
問1では、参加して楽しかったかどうか、問2では、参考になったかどうかについて、択一回答を促した。楽しかったと回答した人は82%(9名)、まあ楽しかったと回答した人18%(2名)で、あまり楽しくなかった、わからないと回答した人はいなかった。参考になったと回答した人64%(7名)、まあ参考になったと回答した人36%(4名)で、あまり参考にならなかった、わからないと回答した人はいなかった。



また、プログラムのおわりに参加者全員から一言ずつ感想を聞いたが、それにおいても参加して良かった、楽しかったとの声が多く聞かれ、全体評価としては好評価が得られたものと思われる。

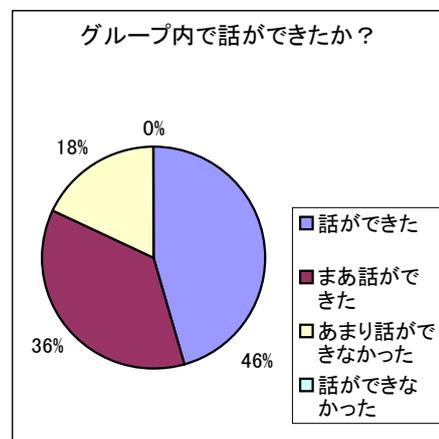
## 2) 会合の形式

問 3 では、会合の形式をお茶やケーキを楽しみながらのグループ形式で行ったことについて、択一回答を促した。良かったと回答した人 91%(10 名)、まあ良かったと回答した人 9%(1 名)で、あまり良くなかった、わからないと回答した人はいなかった。グループ形式での開催は好評価が得られたものと思われる。

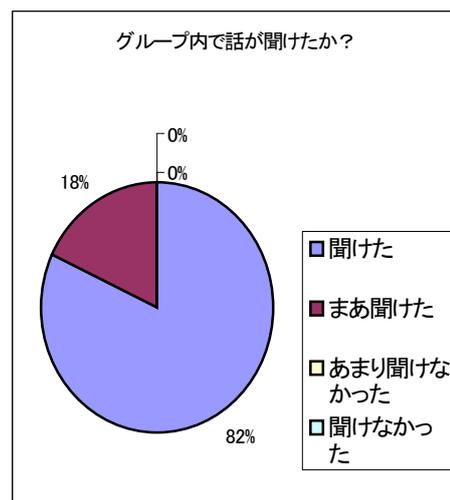


## 3) 参加の状況

問 4 では、グループ内で話ができただろうか、問 5 では、グループの人の話が聞けたかどうかについて択一回答を促した。グループ内で話ができたと回答した人 46%(5 名)、まあ話ができたと回答した人 36%(4 名)と、82%の人が自分の話ができたと概ね満足していることが伺える。しかし、話ができなかったと回答した人はいなかったものの、あまり話ができなかったと回答した人が 18%(2 名)と、話し足りないと感じた人がいたことは、今後の課題として受け止めたい。



また、グループの人の話が聞けたと回答した人 82%(9 名)、まあ話が聞けたと回答した人 18%(2 名)で、あまり聞けなかった、聞けなかったと回答した人はいなかった。これにより、自分は少し話し足りないものの、人の話は聞けたという感想を持った人がいたことが伺える。



## 4) 参加意欲

問 6 では、次回も参加したいかどうかについて択一回答を促した。参加したいと回答した人 45%(5 名)、都合がつけば参加したいと回答した人 55%(6 名)で、参加したくない、わからないと回答した人はいなかった。参加者全員が次回も参加

する意欲のあることが伺えたことは、今後の開催への励みとして受け止めたい。

#### 5) 開催時期

問 7 では、開催時期について択一回答を促した。春(3月～5月)と回答した人 27%(3名)、夏(6月～8月)と回答した人 18%(2名)、秋(9月～11月)と回答した人 45%(5名)で、冬の開催と回答した人はいなかった。また、いつでも構わないと記述回答した人が 9%(1名)おり、概ね、今回同様の開催時期でも良いと判断できる。

#### 6) 要望・自由意見

問 8 では、最後の設問として、自由意見の記述回答を促した。概ね好感触の得られる意見が記載されていた。以下に記述回答を示す。

表 4 記述回答

記述回答
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大変貴重なお時間ありがとうございました</li><li>・ 参加できてよかったです。ありがとうございました</li><li>・ 楽しかったです。ありがとうございました</li><li>・ 質問の内容がやや似ているところがあり少し書きづらかったです</li><li>・ もう少し長く話し合いたいと感じました</li><li>・ より多くの女子技術者の意見も伺いたいです</li><li>・ 学生がもっと増えればうれしいと思いました</li></ul>

### 5. 反省会

反省会は、終了後に、担当スタッフで、懇親会を兼ねて行った。今回の開催内容に参加者から概ね好評価を得られたことを共有すると共に、次回、連続参加となる参加者の扱いと次回初めての参加者の扱いをどのようにするのが良いかについて今後の検討課題とすることとした。また、グループ進行についてもグループ内の全員で意見交換したグループと、スタッフがほとんどの質問に回答する形で進めたグループとに分かれていたため、今後のグループ進行についても検討する必要があることを確認した。

### 6. おわりに

徳島県技術士会女性部会の初めての活動として開催した「第1回阿波なでしこ技術サロン」は、参加者に概ね好評価を得られたことが、終了後のアンケート調査の結果やプログラムのおわりに参加者全員が発言した感想により実感することができた。今後は、今回得られた課題等についてメンバー全員で意見交換を行い、継続活動として根付くよう検討を重ねて行きたいと考えている。

謝辞：女性部会の活動にご支援・ご協力くださった理事および会員の皆さまには、この場をお借りして感謝・御礼申し上げます。